

生徒の発案で始まった ペットボトルキャップの収集。

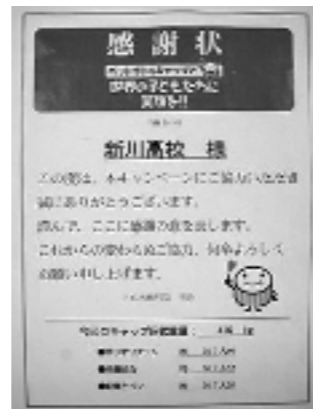
学校祭でペットボトルキャップの収集量を競う企画を。
ごみが資源にかわり、人の役に立つ実感をもつことで、
自主性と環境意識の高まりにつながる。



内容 クラスで収集重量を競う「エコで賞」を学校祭で企画

以前はリングブルを集めていたが、生徒会に所属する生徒がショッピングセンターでペットボトルキャップの回収を行っているのを発見したことをきっかけに、缶よりペットボトルの利用が増えており、多くの人から気軽に協力してもらえると考え、平成21年からペットボトルキャップの収集に切り替えた。各クラスや職員室に収集箱を置いており、生徒会で取りまとめている。学校祭のときには、クラスでの収集重量を競う「エコで賞」を企画し、平成22年度は3年4組が受賞。

全体の回収重量は416kgで、約35人分のポリオワクチンへの交換に相当する量を集めることができた。



企業からの感謝状

今後 人の役に立つ資源回収の目的を明確に

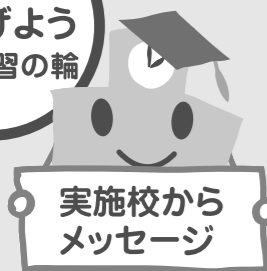
今までごみと思っていたものが資源にかわり、さらに人の役に立てることを実感。受賞を目指して競い合うことで、意欲的に取り組むことができる。加えてワクチンが実際に届けられている場所や、使用されている様子などを写真や映像で見ることができれば、より資源回収やリサイクル活動への目的がはっきりし、環境の保護に対する意識が高まるのではないかと感じている。たくさん集まるのは嬉しいことだが、保管

場所の確保と集めたものを回収拠点へ運搬する作業に苦勞しているのも現状。生徒の発案で始まった取組を、継続させたり、広がりをもたせたりするためには工夫が必要だと感じている。



ペットボトルキャップの回収

広げよう
つなげよう
環境学習の輪



本校では、毎年春に行われる新川町内会主催の清掃活動「クリーン作戦」に取組んでいます。町内会から文章で案内をもらい参加者を募り、平成22年は生徒会や弓道部を中心に50名以上の生徒が参加。町内会の方々を含めると120名以上になりました。また、平成21年は北海道マラソンの参加者が安全に走行できるようにとの配慮から、夏にも実施しました。ただ生徒会や部活動の生徒が中心になってしまっており、今後は他の生徒も積極的に参加できるような工夫、働きかけを行っていきたく考えています。

フードリサイクル・農園



ごみ分別・資源物回収

リサイクル可能なペットボトルキャップの収集

フードリサイクル・農園

身近なリサイクル

清掃活動

植樹・花壇

ビオトープ

パネル

委員会
児童会

地域と協働

その他